

# 新着図書からおすすめの5冊

毎週火曜日は、新着図書の配架日です。本日11月4日（火曜日）の新着図書の中からおすすめの本を紹介します。インターネット予約・貸出は、11月18日（火曜日）からです。

## 『わたしがつくる物語』

桐光学園中学校・高等学校／編、水曜社／刊、請求記号：041/W47

内容：哲学とのつきあい方、日本人であること、学び続ける原動力…。幅広いジャンルにわたる一流教授陣が、中高生の好奇心を刺激した「大学訪問授業」の記録。2013年度「桐光学園特別授業」全20回と講演レポートを収録。

## 『日中比較神話学』

王 小林／著、汲古書院／刊、請求記号：164.1/O,11

内容：上代から近代までの日中文学の中から、「桃と祭礼-記紀黄泉国伝承をめぐって」など4つのテーマを選び、それぞれ記紀神話、陶淵明、夏目漱石、魯迅を対象として、文献学と比較神話学の角度から考察する。

著者紹介：1963年中国生まれ。京都大学大学院文学研究科博士後期課程修了。京都大学博士(文学)。香港城市大学人文・社会科学部准教授。著書に「日本古代文献の漢籍受容に関する研究」など。

## 『南回りのシルクロード』

張 允植／著、雄山閣／刊、請求記号：290.9/C,33

内容：延べ200日の船旅で世界を巡る。長い時間を掛けての旅は、訪れるその所々について考える時間があるものだ-。観光地を訪れた光景、街を行き交う人々、現地のニュースなどを見て、考えたことを綴る。

## 『老舗の伝統と<近代> 家業経営のエスノグラフィー』

塚原 伸治／著、吉川弘文館／刊、請求記号：672.1/Ts,53

内容：「伝統」と切り離せない老舗の経営。その価値を負うことは、束縛も引き受けることを意味する。佐原・近江八幡・柳川での現地調査を素材に、老舗の人びとの視点から経営実践を追究し、老舗の伝統をめぐる現在に迫る。

著者紹介：著者紹介：1984年千葉県生まれ。筑波大学大学院博士課程人文社会科学研究科歴史・人類学専攻退学。博士(文学)。東京大学東洋文化研究所特任研究員。共著に「二〇世紀民

俗学」を乗り越える」など。

## 『ビリービンとロシア絵本の黄金時代』

田中 友子／著、東京美術／刊、請求記号：726.6/ Ta,84

内容：19世紀末から20世紀初頭にかけて、ロシア絵本の黄金時代が幕を開けた。なかでも最も輝いていたビリービンによる昔話絵本の挿絵や原画を紹介。彼の絵本以外の仕事や、彼と同時代の絵本画家たちの作品も収録する。

著者紹介：著者紹介：京都府生まれ。京都芸術短期大学卒業後、モスクワ国立映画大学を卒業。ロシア児童文学・文化研究誌『カスチョール』の編集に携わるかたわら、ロシアの絵本文化を紹介。

**佐賀県立図書館** 〒840-0041 佐賀県佐賀市城内二丁目1-41

Tel 0952-24-2900 Fax 0952-25-7049 E-mail [saga-kentosyo@pref.saga.lg.jp](mailto:saga-kentosyo@pref.saga.lg.jp)